

令和元年度 サニー・サイト事業報告書

『就労継続支援B型・生活介護事業』

平成31年4月1日～令和2年3月31日

文責：管理者補佐 岩崎 充宏

1) 利用者支援の具体的なあり方

『共通』

1. 利用者の希望に添った個別支援計画を作成し、支援を行った
2. 家族、グループホーム支援員と連携を密にし、極め細やかな体調管理を行った。また協力医（太田医師）から事業所での健康管理について助言を受け、希望者には訪問看護（医療連携体制加算）を利用して週5日、メンタルヘルスについて助言を受けることが出来るようにした。
3. 自主製品製造（クッキー）、軽作業や下請け作業、エコ活動（アルミ缶回収）、創作活動（さをり織り）等、体調に合った作業を選択して取り組むことが出来るようにした。
4. 集団生活の中で、自主性・協調性・社会性を育めるよう支援することに努めた。しかし1名の男性利用者については2年以上に亘って何度も話合いの場を設け、協調性を高められるよう支援してきたが、他の利用者への暴言、威嚇行為をなくすことができなかった。
5. 音楽を取り入れたレクリエーション（音楽療法：月1回～2回）を実施し、楽しみながら身体を動かすことができる活動を行った。
6. 豊かな生活に繋げていけるよう、創作活動の時間（音楽、芸術を楽しむ時間）としてアクセサリー等を作成した他、SBと合同でトルペイント、MB、SBと合同で和菓子レクリエーションを行った。

『就労継続支援B型』

1. 年2回（クリスマスとバレンタイン）、法人全体で、クッキー注文販売の取り組みを実施し、法人内日中事業所の利用者全員の工賃を向上させられるように努めた。そのため、イベント時期（特にクリスマスクッキー）にはクッキーの製造に関わる利用者の負担が、クッキーの製造に関わらない利用者に比べて大きくなっていると思われる。

イベントクッキーの法人全体の売上は下記の通り。

クリスマス	2019年度：742,100円	2018年度：831,800円	89,700円減
バレンタイン	2019年度：353,100円	2018年度：331,700円	21,400円増

また自主製品（クッキー、さをり織り）の販路や受注を増やし、工賃向上を目指した。クッキーについては、堺市授産製品コンクールで2度受賞した実績もあり、販路、売上ともに増えている。そのため工賃の向上に大きく貢献している。さをり織りについては関わる利用者が少なく、利益率も低いため、工賃の向上に資するまでには至っていない。

2. 複数の業者から仕事を請け負うことによって、軽作業や下請け作業の安定した作業提供に努めている。昨年度に比べると売上は上がっているが、利用者の負担を考慮して納期にゆとりがあり簡単な仕事しか請け負っていないため、作業単価が低く、工賃の向上に資するまでには至っていない。

3. 一般就労を希望する利用者がいないため、施設外訓練、職場実習、就職活動には取り組んでいない。

食品部門（クッキー、かき氷等）売上

	2019年度	2018年度	増額
クリスマス	465,588	523,373	-57,785
バレンタイン	239,286	212,087	27,199
バザー	503,936	594,152	-90,216
店頭直売	535,540	496,940	38,600
支援学校販売	89,280	156,330	-67,050
パッセ	86,460	110,545	-24,085
ファミリーマート	192,270	94,146	98,124
美樹の園	259,000	244,000	15,000
モンキーばなな店頭	184,192	176,508	7,684
かき氷	16,000	21,020	-5,020

単位（円）

非食品部門（下請け、さをり織り）売上

	2019年度	2018年度	増額
ポケットフーズ	86,400	86,128	272
泉州パック	93,196	81,195	12,001
フジマサ	159,000	132,590	26,410
ヤマト商工	53,390	70,224	-16,834
リブウェル	303,918	245,506	58,412
アルミ缶換金	94,777	112,319	-17,542
さをり織り	71,110	78,050	-6,940
線香販売委託料	3,800	3,500	300

単位（円）

※前年度と比較可能な項目のみ記しており、分類を変更したため前年度と比較できない項目については除外している。除外した項目を含めた授産会計全体の売上は下表の通りである。

授産会計売上

	食品部門	非食品部門	合計
2019年度	2,892,275	959,198	3,851,473
2018年度	2,768,263	855,001	3,623,264
増額	124,012	104,197	228,209

単位（円）

※2019年度の非食品部門の売上には請求ミスにより、本来2018年度3月の売上に含まれるべき36,000円（機関紙作業代金）が含まれている。そのため増額は
 $(959,198 - 36,000) - (855,001 + 36,000) = 32,197$
 となり、非食品部門の売上は微増に留まる。

食品部門については堺市授産製品コンクールで受賞したことから、ファミリーマートへの納

品数が大幅に増えている。またレストランぐらん・じゅなど新規の販路を獲得したこともあり、月平均 10,000 円以上の売上アップを達成した。現在工賃の財源はクッキーの売上に依存している状態である。

『生活介護』

1. 看護職員及び機能訓練士の指導の下、二次障害防止に努め、安全への配慮と共に健康活動（マッサージ、ストレッチ、口腔ケアなど）を毎週行った。口腔ケアは毎週木曜日、マッサージは毎週水曜日に実施している。ただしコロナウイルス感染拡大が大きな社会的問題となりつつあった 2 月以降は中断している。
2. 社会参加を目的とした外出訓練、販売訓練を毎月 1 回以上計画し実施した。実施した外出訓練、販売訓練については 4 ページ以降に記載。

2) 利用者の受け入れ状況等

1. 利用者の新規受け入れ：あり。中区基幹相談を通して、女性利用者 1 名受け入れ
2. 利用者の契約解除：なし。
3. 長期入院中の利用者 2 名。

3) 利用者支援の具体的内容

『共通』

1. 日課（月～金）

09:30～	9:45	朝礼・ラジオ体操・体調報告・各班作業予定発表
09:45～	11:00	作業
11:00～	11:10	休憩 ※クッキー作業は途中休憩なし（適宜水分補給）
11:10～	12:00	作業
12:00～	13:00	昼食（各自で準備。希望者は宅配弁当を利用）・休憩
13:00～	13:05	・ラジオ体操第 2
13:05～	14:30	作業
14:30～	14:40	休憩 ※クッキー作業は途中休憩なし（適宜水分補給）
14:40～	15:30	作業
15:30～	16:00	掃除・帰宅準備 ※金曜日・祝日…14:30 終礼・帰宅
16:00～		終礼・帰宅

- ・朝礼の開始時刻は、送迎車の到着時刻によって変更している。
- ・13 時から福祉レクダンスを行っていたが、参加しない利用者が多いため終了し、ラジオ体操第 2 を行っている。
- ・クッキー作業については、就労移行支援事業を行っていた頃から途中休憩を無しとしている。そのため不公平にならないよう、工賃に反映されるようにしている。
- ・土曜日に開所するときは、金曜日・祝日のスケジュールに準じている。

2. 週間

水曜日 機能訓練士によるマッサージ（生活介護利用者）

【配達】 毎週、高齢者施設：美樹の園へのクッキーの配達。

※1月までは上記のスケジュールであったが、2月以降は新型コロナウイルス感染症の影響で変更している。

3. 月間

販売訓練 支援学校4校（毎月1回、主に出身利用者が交代で参加）

月1回、中区役所、高齢者施設：やすらぎの園での自主製品販売を行った。

※中区役所での販売は終了となった。支援学校販売、やすらぎの園での販売も、新型コロナウイルス感染症の影響で2月から中断している。

配 達 賞味期限の状態にあわせて、ギャラリーみなみかぜ、イオンモール堺鉄砲町店、ファミリーマート堺一条通店、ファミリーマート堺堀上町店、モンキーバナナ、レストランぐらん・じゅへクッキーを配達した。

※イオンモール堺鉄砲町店、レストランぐらん・じゅについては新型コロナウイルス感染症の影響で中断している。

広 報 担当者による「こんにちはサニー・サイトです」（地域新聞）の発行と深井清水町への配布を行った。堺市授産製品コンクールでの受賞について、届けて頂いたアルミ缶に「おめでとうございます。」とのお手紙を添えて頂くなど、地域の方に活動を知って頂いていることが伺える。

4. 年間

販売訓練

- ・ 泉北カトリック教会年 5回（奇数月）
- ・ やすらぎの園（不定期）
- ・ 04月20日（土）春のプラザ祭 職員1名
- ・ 05月11日（土）深井西地域ファミリーフェスティバル 職員2名
- ・ 07月25日（木）堺市庁舎販売 職員1名 利用者1名
- ・ 11月03日（日）中区スマイル食フェスタ 職員1名 利用者1名
- ー1 グランプリ 職員1名
- ・ 11月09日（土）第32回関西矯正展 職員2名 利用者2名
- ・ 12月18日（水）堺市庁舎販売 職員1名 利用者1名

外出訓練

- ・ 06月01日（土）紬あけぼのバザー 職員2名 利用者7名
- ・ 08月12日（月）カラオケ大会 職員3名 利用者14名
- ・ 09月23日（月）イオンモール堺鉄砲町（外食） 職員3名 利用者16名
- ・ 10月26日（土）さかいボランティア・市民活動フェスティバル 職員2名 利用者8名
- ・ 11月03日（日）堺市障害者スポーツレクリエーション大会 職員6名 利用者14名
- ・ 11月16日（土）ピュアハート心の歌コンサート 職員4名 利用者11名
- ・ 12月21日（土）浜寺教会クリスマスコンサート 職員2名 利用者12名
- ・ 2月15日（土）ストックホルム展見学 職員5名 利用者15名

社会見学

06月21日（金）日帰り旅行（海遊館・サンタマリア号乗船）

職員11名（応援職員を含む）、利用者17名

季節行事

- ・04月01日（月）オリエンテーション
- ・08月01日（木）PL花火鑑賞会 職員4名 利用者11名
- ・10月27日（日）福祉秋祭り 職員2名
- ・11月23日（土）福祉フェスティバル 職員3名
- ・01月04日（土）新年会 職員3名 利用者10名

調理訓練

- ・05月06日（月）ミートスパゲティゲティ、サラダ 利用者13名
- ・07月15日（月）夏野菜カレー 利用者13名
- ・09月16日（月）ひじきご飯 利用者12名
- ・12月27日（金）寄せ鍋、うどん 利用者18名
- ・03月20日（金）ピザ、ミネストローネ 利用者16名

創作活動

- ・05月03日（金）万華鏡&プラ板アクセサリ作り 利用者13名
- ・12月28日（土）カレンダー 利用者9名
- ・01月18日（土）鬼のお面など 利用者9名
- ・02月28日（金）3事業所合同和菓子レクリエーション 利用者17名
- ・02月29日（土）ひな人形 利用者12名

5. サービス提供日

月曜日から金曜日。休所日は、①土、日（不定期に行われる外出及び販売訓練等は除く）
但し、

- ① の休所日の内、祝日のない月は1回以上開所日とした。
- ② 8月13日（火）14日（水）15日（木）の（3日間）・・・夏休み
- ③ 12月30日（月）～1月3日（金）の（5日間）・・・年末年始休み

年間開所日数：**281日間** 内、土曜祝日開所日数：**32日間**

※12月、1月、2月、3月は毎週土曜日に合同開所した。

6. 利用者の健康管理と個別支援計画

- ・家族・グループホーム支援員と連携し、毎朝起床後の検温実施。作業開始前の体調チェックを行った。
- ・毎日の健康について連絡帳を活用し、病院受診時に通常の様子を医療につなぐ連携を緊密にするよう努めた。利用者の1人が4月20日（土）に通常疥癬と診断されたが、連携を密にして情報を共有することによって、感染者を出さなかった。

- ・毎月1回、看護職員による体重・体脂肪等測定、バイタルチェックを実施した。また個別に年間の記録をまとめたものを配布した。その他、利用者からの健康相談（病院での診断や検査結果について）に看護職員が適宜対応した。
- ・毎月1回、協力医（太田医師）による健康相談を実施した。主に集団で過ごす上で注意すべきことについて助言を受けている。
- ・健康診断を7月に実施した。またインフルエンザ対策の予防接種を11月に実施した。
- ・個別支援計画作成時に家族、グループホーム支援員と情報交換を行い、利用者の健康状態や身体状況を常に把握し、日々の支援を行った。また必要に応じて、家族との3者面談を行い、利用者の状態の他に家族の不安や悩みも共有した。

通所支援

- ・自力通所の困難な利用者については可能な範囲で福祉車両での送迎を実施した。また定時の通所が難しい利用者についても、可能な場合は時間を変更して対応した。2月以降は新型コロナウイルス感染予防のため、自力通所者についても臨時で送迎を行った。
- ・送迎は福祉車両を使用し、送迎職員と常勤職員で行った。

7. 防災・避難訓練の実施と事故防止対策・対応

- ・年1回の避難訓練については、9月の大阪880万人訓練が中止となったため、防災の勉強会に変更して、S Bと合同で実施した。また自主訓練（避難訓練と防災についての話し合い等）を3月にS Bと合同で実施した。
- ・事故防止のための環境整備など、十分な配慮を行い支援にあたるよう努めた。事故が発生した場合は家族及び支援者への連絡し、迅速に対応した。また利用者による物損（台所の棚を倒した）、物損未遂（洗面台の横の棚を倒そうとした）があったため、対応として、什器を固定した他、高い場所へ物を置かないようにした。
- ・事故または苦情が発生した場合は、適切に対応するとともに5日以内に報告書を作成し、その後、関係者が複数で防止策を検討し、1週間以内に全職員が共有して再発防止に最善を尽くすように努めた。しかし5日以内に報告書が作成されなかったこと、また関係者が集まって事故の防止策を検討するまでに10日以上経過することがあった。

【事故：5件】

- ①交通事故（物損）：サイドミラーを電柱に接触させ破損させた。
- ②怪我：利用者が事業所内で転倒し、膝を打撲した。
- ③備品破損：クッキー室のガスコンロでタッパーを焦がしてしまった。
- ④他害：男性利用者が女性利用者を平手打ちした。
- ⑤送迎の不備：鍵が無く、自宅に入ることができなかった。

【ひやりはっと：9件】

- ①車両の使用について（車両の故障、車両の鍵を落とした（その後見つかった）、乗車時の車椅子の固定不足、リフト車のハッチバックドアを開けたままバックした）4件
- ②利用者の軽微な怪我（ダンス中にドアに手をぶつけた、爪切りの失敗、）2件
- ③危険行為（突然近くにあった目打ちを掴む、突然作業機を突き飛ばす）2件
- ⑤所在不明（外出訓練中に建物の柱の後ろに隠れて職員の反応を見ていた。）

8. 地域社会との交流

- ・ナカ♡ナカマネットワークと中区つむぎの会へは参加できており、イベントに協力することもできているが、深井清水町自治会の行事には参加できていない。
- ・地域住民に対してホームページや地域新聞で情報を発信することはできているが、地域からのニーズを汲み取るまでには至っていない。アルミ缶の回収については、地域の方に多大なご協力を頂いている。
- ・深井中央中学校から2名、職場体験を受け入れた。大阪府立大阪南視覚支援学校から1名、実習を受け入れた。深井小学校3年生の事業所見学は、荒天と新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、2度の延期の末に中止となった。

10. 広報活動

- ・法人機関紙「ばなの木」を年4回発行し、事業所の現状を多くの方に発信し、理解・協力を求めるよう努めた。
- ・担当者がホームページを月2回更新し、外出訓練や調理訓練の様子、クリスマスやバレンタインのイベントの案内と売上の報告、助成金事業の内容等の活動報告を行った。

11. ボランティアの受け入れ

- ・定期的にクッキー作業と縫製品のボランティアに来て頂いている。

12. 職員について

- ・日々の業務を円滑にするため、健康管理を重視し、全職員が健康診断を7月に受けた。
- ・職員の健康維持と事業所内での感染拡大を予防するため、インフルエンザの予防接種を11月に受けた。※費用は事業所負担
- ・育成研修：利用者への理解を深め、適切な支援・対応が出来るよう職員の専門性の向上を図るため、積極的に外部研修に参加した。また、採用2年目未満の職員については、キャリアパス対応研修課程テキスト「初任者編」を実施した。また福祉専門の資格（介護福祉士等）取得にも、積極的に事業所がバックアップし、資格の取得支援にも協力を行った（新たに2名の職員が介護福祉士を取得）。
- ・職務分担：課せられた職務を遂行する上で、個々の職員が過重負担にならないよう努めた。が、イベントクッキーの製造を間に合わせるために、担当職員が早出残業をすることがあった。特定の職員に負担が偏っていたことが考えられる。
- ・職務遂行：各職員が法人目標を達成できるよう職務を遂行し、決めた事を貫徹する職員集団にするように努めた。

職員研修の実施、参加状況

- | | | |
|------------|-------------|----|
| ・04月03日（水） | ペア研修（内部研修） | 4名 |
| ・04月11日（木） | キャンパス施設見学 | 1名 |
| ・04月20日（土） | バリアフリー展 | 1名 |
| ・04月23日（月） | 行動援護従事者養成研修 | 1名 |
| ・04月25日（木） | 行動援護従事者養成研修 | 1名 |
| ・04月26日（金） | 行動援護従事者養成研修 | 1名 |
| ・05月22日（水） | 福祉有償運送適正検査 | 1名 |

	法人全体研修（事例検討）	7名
・06月04日（水）	スーパーバイザー研修	1名
・06月06日（木）	感染症・食中毒予防対策研修	1名
・06月13日（木）	集団指導	1名
・06月17日（水）	法人全体研修（施設見学報告）	7名
・07月03日（水）	ペア研修（内部研修）	4名
・07月30日（火）	家族会合同研修（虐待）	7名
・07月31日（水）	チームリーダー研修	1名
・08月06日（火）	チームリーダー研修	1名
・08月19日（月）	法人全体研修	7名
・08月23日（金）	チームリーダー研修	1名
・08月27日（火）	福祉有償運送講習会	1名
・09月03日（火）	強度行動障がい支援者養成研修	1名
・09月04日（水）	ペア研修（内部研修）	4名
・09月11日（水）	強度行動障がい支援者養成研修	1名
・09月20日（金）	法人全体研修	7名
・09月30日（月）	食品表示セミナー	2名
・10月02日（水）	ペア研修（内部研修）	4名
・10月10日（木）	ケアテックス見学	1名
・10月11日（金）	法人全体研修	7名
	ケアテックス見学	1名
・10月24日（木）	堺ミーティング	3名
・11月06日（水）	ペア研修（内部研修）	4名
	障がい者虐待防止・権利擁護研修	1名
・11月08日（金）	法人全体研修	7名
・12月09日（月）	強度行動障がい支援者養成研修	1名
・12月19日（木）	強度行動障がい支援者養成研修	1名
・01月10日（金）	法人全体研修	7名
・03月13日（金）	法人全体研修	7名

13. 家族会、家族、支援員との連携について

- ・事業所より家族会担当者を設けたが、管理者が対応することが殆どであった。家族会からの貴重な意見を真摯に受け止め、出された要望には可能な限り応じていくよう努めた。
- ・年1回、事業所独自に家族と職員の懇談会を開催し、家族同士のつながりを深め、個人では解決しにくい問題や共通の課題等を率直に話しあえる機会を作った。
- ・電話、連絡ノートを活用して事業所や自宅での様子や普段と違ったこと等を、個別に情報交換し家族・支援員と連携しながら日々の支援を行っていった。
- ・家族・支援員、関係機関と連携する中で利用者の全体像を把握し、個別支援に反映させるよう努めた。